

# 平成 29 年第 4 回当別町議会定例会

(日程 9月5日～9月15日) 傍聴人数 30名

【決算】 ※詳細は、7～11 ページに掲載

- 平成 28 年度各会計歳入歳出決算認定について
- 平成 28 年度水道事業会計決算認定について

《平成 28 年度各会計決算審査特別委員会へ付託》

▶全会一致により認定

【補正予算】

■一般会計補正予算 (第 2 号)

補正額	8,247 万円 (増)
平成 29 年度総額	94 億 4,605 万円

《主な補正内容》

○ふとみ保育所業務委託	1,014 万円
○保育施設等給付費負担金	2,226 万円
○除排雪業務委託	1,500 万円
○排雪費支援補助金	972 万円

**保育料 3 歳未満第 2 子無償化**

主な質疑 (佐藤議員)

多子世帯保育料軽減支援事業は、北海道の事業を活用し、それに町単独の事業を積み重ねて実施すると承知している。特に、所得制限を設けないところが町独自の部分になると思うが、周辺自治体で、そのような取組みをしているところはあるのか。

(子ども未来課長)

石狩管内の他の市で、所得制限を設けていない自治体はない。ただし、札幌市では、所得制限を設けず、当別町と同様の基準での実施となっている。

(佐藤議員)

今回の所得制限の緩和以外にも、第 2 子目のカウント方法や 3 歳以上についても所得制限を外すなど、様々な施策が考えられる。限られた財源の中、今回、まず所得制限を外すことから取組まれた理由は何か。また、今回の施策は、今後、当別町として、子育て支援を拡充していく中での大きな施策の一貫としての位置付けと理解して良いか。

(子ども未来課長)

低所得者への経済的支援のみならず、町の出生数全体の増加を目指すため、所得制限を設けず、事業実施をしたい考えである。また、議員ご指摘のとおり、対象年齢の拡大や多子世帯のカウントの見直しなど、今後、改善の余地はあると認識している。国が議論を進めている幼児教育の段階的無償化の動向も注視しながら、

限られた財源の中で効果・ニーズの高い支援方策について、引き続き、検討をしていきたいと思う。

▶全会一致により可決

■介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)

補正額	4,285 万円 (増)
平成 29 年度総額	14 億 9,055 万円

▶全会一致により可決

【人事案件】

■教育委員会委員 (佐々木成尉<sup>しげやす</sup>氏) の任命について

▶全会一致により同意

【議員提案】

■林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

主な質疑 (鈴木議員)

提案理由については同意できるが、意見書案の中の森林環境税 (仮称) について、少し議論が必要であると思うが、どのように考えるか。

(提出者稲村議員)

全国的な流れでもあるので、報告書案の中に入れた。(鈴木議員)

このことについては、議論が不足していると思うが、いかがか。

(提出者稲村議員)

今、検討を進めているということを意見書の中に盛り込んでいるところである。

▶全会一致により可決

■朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に抗議する決議

▶全会一致により可決

【その他】

■北海道市町村職員退職手当組合理約の変更の協議について

▶全会一致により可決

■北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更の協議について

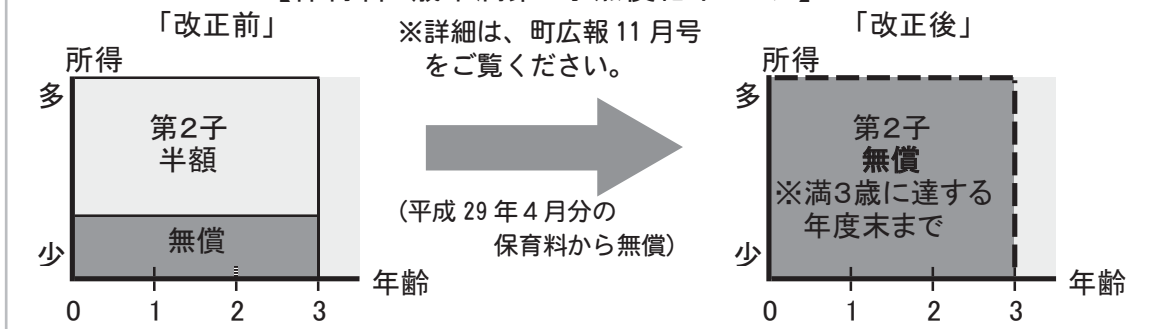
▶全会一致により可決

■北海道市町村総合事務組合理約の変更の協議について

▶全会一致により可決

【陳情】 ※次ページに掲載

## 【保育料 3 歳未満第 2 子無償化イメージ】



件名	提出者	付託先 付託時期	結果
札沼線の北海道医療大学駅以北の路線廃止に歯止めをかけるための意見書の採択を求める陳情	太美地域社会保障勉強会 会長 菊地 眞生 他4団体	総務委員会 29年第4回	審議継続
日欧EPA「大枠合意」の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体	産業委員会 29年第4回	審議継続
核兵器禁止条約に日本政府が早期に参加することを求める意見書採択の陳情書	新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体	総務委員会 29年第4回	審議継続
若者の人口流失を防ぎ、地域活性化を実現するため、「最低賃金の大幅引き上げ、全国一律制の確立を国に求める意見書」の提出を求める陳情	札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信	総務委員会 29年第3回	賛成多数 不採択 ※討論1
「森友学園」並びに「加計学園」問題の徹底した国会審議で疑惑解明を求める意見書の採択を求める陳情書	当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体	総務委員会 29年第3回	賛成多数 不採択 ※討論2
障害者の家族による介護の負担軽減と「親亡き後」遺された障害者が安心して生きていくために必要な社会資源の拡充を国に求める意見書の提出を求めることについての陳情書	障害者の生活と権利を守る 北海道連絡協議会 会長 片石 松蔵	産業委員会 29年第3回	全会一致 採択
「自家用車を利用したライドシェア解禁の慎重な審議を求める意見書」の提出を求める陳情	自交総連北海道地方連合会 執行委員長 渡辺 聡	産業委員会 29年第3回	審議継続
子ども医療費助成制度の拡充を求める陳情書	新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体	産業委員会 29年第3回	審議継続
町内の夜間休日の診療体制の充実を求める陳情書	公益財団法人 北海道勤労者医療協会当別社員支部 支部長 今野 一三六 他4団体	産業委員会 29年第3回	審議継続

※「総務委員会」は総務文教常任委員会、「産業委員会」は産業厚生常任委員会の略。

《討論1》

●総務文教常任委員会の不採択の報告書について

反対討論（鈴木議員）

人口減少問題をテーマとした特別委員会設置について検討・議論している当別町議会としては、この陳情を採択すべきである。

賛成討論（秋場議員）

時給1,500円を目指すことを前提とするこの陳情は、経営者側のことが考慮されておらず、不採択とする委員会の報告書に賛成である。

《討論2》

●総務文教常任委員会の不採択の報告書について

反対討論（鈴木議員）

世論調査では、未だ解明されていないと答える国民

が7割を超えている。私達は町議会議員ではあるが、同じ議員として、この陳情を採択すべきである。

賛成討論（岡野議員）

両問題は、国会の開会中から、引き続き審査が行われている。また、国会は、解明する機能を有しており、引き続き審査をしていくと思っている。これらのことから、不採択とした報告書に賛成である。

反対討論（澁谷議員）

国の行政が、付度により歪められたのではないのか。また、国の財産が適正に払い下げられたのか。国の行政が歪められていると大いに感じられる。この陳情を採択すべきである。

## 第4回定例会提出議案等についての主な質疑

## 総務文教常任委員会【9月6日】

## 〈総務部〉

## 〔教育委員の任命〕

Q 佐々木氏が委員として入ることにより、教育委員はどのような構成となるのか。

A 構成について、男性が3名、女性が1名。佐々木氏は保護者枠での委員である。

Q 他の委員は、どのような枠で出ているのか。

A 教育委員会の構成について、校長経験者である学識経験者が1名、保護者代表の方が3名で、そのうち1人は女性である。選定理由は、教育行政に対するこれまでの貢献、教育に対する熱意など広く資質があるためである。現在、教育委員は4名で、教育に対する熱意が高い人が揃っており、バランスもとれていると思っている。

## 〈教育委員会〉

## 〔除雪業務委託の増額補正〕

Q 除雪業務委託について、労務単価が上がったということであるが、具体的にどのように上がったか。

A 当初設定していた金額より、約3%増加し、あわせて燃料単価も若干上昇したため増額をした。

## 〈企画部〉

## 〔道の駅北海道連絡協議会〕

Q 道の駅北海道連絡協議会では、どのようなことを行うのか。

A 全道の道の駅は、この協議会に全て加入している。協議会に入るとスタンプラリーに参加することができる。また、全道、全国の道の駅、関係機関からの案内で、先進地事例の報告などがある。全国でも年1回全国大会があり、その際にも先進地事例の報告がある。

Q 道の駅のスタンプとマグネットは、9月23日のオープンのときにあるのか。

A オープンにあわせて準備をしている。

## 〔ゆとりっち稲穂〕

Q ゆとりっち稲穂の財産収入で、平成23年以降、ゆとりっち稲穂の区画はどれくらい売れたか。

A 平成24年に土地開発公社か

ら解散清算に伴い土地を取得し、その後、町有分譲地として、売り払いを開始した。土地開発公社から取得した時の状況は、その時点では19区画あり、そのうち、3区画の売却となっており、残りは16区画である。

Q 土地単価は、どのように決定しているのか。

A 土地開発公社で所有していたときは、不動産鑑定士に評価を依頼をして、評価額をもとに価格を決定していた。その後、地価公示推移を見ながら、その都度価格の評価を行い、直近の評価は平成25年度に価格の見直しをした。

Q 単価の見直しは、今後考えているのか。

A 単価の見直しを行ったのが平成25年で、4年経過しており、現在、当別町の地価公示は下がっているため、来年度に向けて評価額の見直しを検討していきたい。

## 産業厚生常任委員会【9月7日】

## 〈経済部〉

## 〔水耕栽培のコンソーシアム事業〕

Q 水耕栽培のコンソーシアム事業での町の役割は何か。また、実証栽培を実施する農業生産法人のエルファームについて、今年度は栽培技術を構築するというところであるが、どのような法人で、どのような経緯で今回の事業にご協力いただけるようになったのか。

A まず、町の役割については、これまで実証を続けてきた富士通と町が一緒になり、いわゆるプレイヤーとなる農業生産法人を誘致して。要するに、主体となるエルファームという農業生産法人が、栽培実証を行う。町が、施設をお貸しし、これまで栽培を行ってきた技術スキルの提供を行う。富士通は、ICTやクラウドの技

術のアドバイスをを行う。そして、その栽培のデータなどをフィードバックしていただいて、データを共有し、広く町民に還元していく、そのようなイメージである。もう一点のご質問であるが、エルファームについては、エネルギーや電気に精通し、尚且つ、農業の技術もある法人である。

Q パイプハウスについては、エルファームが設置するのか。また、エルファームは町内の法人なのか。どのような実績があるのか。

A エルファームは、町内在住者が経営する札幌市内の電気会社が母体となって、当別町出身の方々がメンバーとなり立ち上げた農地所有適格法人（旧称：農業生産法人）である。パイプハウスについては、エルファームが設置する。

## 〈建設水道部〉

## 〔河川維持工事の増額補正〕

Q 河川維持工事300万円の増額補正については、どこの地区か。

A 高岡地区や中小屋地区の河川の修繕を予定している。

## 〔排雪費の増額補正〕

Q 排雪費支援の増額補正は、いわゆる、住民の負担軽減をするための措置と理解して良いか。

A 単価上昇分と直近3ヵ年の排雪量に伴い増額補正するものである。これについては、住民5割、町5割という制度であるが、現在、住民2割、町8割と住民の軽減策をとっているため、それを含めた部分での対応をしているところである。



### 総務文教常任委員会町内所管事務調査

【8月21日】○北欧の風道の駅とうべつ視察



### 北海道町村議会議長会議会広報研修会【8月22日】

8月22日に北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会がポールスター札幌で開催され、当別町議会からは、議会広報特別委員会5名と事務局1名が参加し、講師の吉村潔氏による「議会がもっと身近になる広報紙づくりへ」と題した講義とクリニックの研修を受けました。



### 産業厚生常任委員会町内所管事務調査

【8月29日】○作物生育状況調査  
○町道高岡中央線歩道新設工事



【10月6日】○北海道ドローン協会当別練習場視察



### 森林・林業・林産業活性化推進当別町議会議員連盟研修会【10月15日】

10月15日に道民の森で開催された北海道・木育（もくいく）フェスタ2017『植樹祭・育樹祭』へ参加し、アカエゾマツ・ハルニレ・ケヤマハンノキ・ヤチダモを植樹しました。



## 産業厚生常任委員会道内所管事務調査 砂川市・上川町・旭川市 10月5日～6日

- テーマ ○創業支援について（砂川市議会）  
○6次産業化の取組みについて（上川大雪酒造株式会社）  
○6次産業化の取組みについて（有限会社西神楽夢民村）



砂川市議会での研修の様子



上川大雪酒造での研修の様子



西神楽夢民村での研修の様子

## 議会運営委員会道内所管事務調査 浦幌町・広尾町 10月17日～18日

- テーマ ○議会活性化の取組みについて（浦幌町議会）  
○議会改革の取組みについて（広尾町議会）



浦幌町議会での研修の様子



広尾町議会での研修の様子

### 議会報告会を開催します！

次のとおり議会報告会を開催します。どなたでも参加できます。皆様のお越しをお待ちしております。（※事前の申し込みは不要です。）

- 【内容】 ○議会報告 ・平成29年6月定例会報告 ・平成29年9月定例会報告  
○懇談 ・テーマ「町政・地域が抱える課題のフリートーク」

#### ゆとろ（当別町総合保健福祉センター）開催

日時：平成29年11月6日（月）19時～  
場所：多目的ホール

#### 西当別コミュニティーセンター開催

日時：平成29年11月7日（火）19時～  
場所：大会議室

※概ね90分を予定しております。